

令和 6 年度福祉関係高校生向け 介護テクノロジー体験会開催業務委託

実 績 報 告 書

令 和 7 年 2 月

目 次

第1章 事業概要

1. 事業の目的	2
2. 実施スケジュール	2

第2章 福祉関係高校生向け介護ロボット体験会開催

1. 各地区共通	4
2. 各地区の実施結果	7
(1) 長崎地区	7
(2) 県北地区	9
(3) 県央地区	11
(4) 県南地区	13
(5) 離島地区（対馬）	15
3. アンケート結果	17

第1章 事業概要

1. 事業の目的

県内介護事業所において、介護ロボット等のテクノロジー機器活用が推進されている現状を、若年者に体感してもらうことにより、介護の仕事に対するイメージを刷新できる可能性があるため、福祉関係の高校性等に、介護現場で活用されている最新の介護ロボットの介護テクノロジー体験会を開催する。

2. 実施スケジュール

長崎地区、県北地区、県央地区、県南地区、離島地区の5か所にて対面方式で体験会を実施した。

実施地区	9月		10月		11月		12月		1月	
長崎地区										●
県北地区		●								
県央地区							●			
県南地区		●								
離島地区	●									

- ・ 長崎地区
開催日 : 2025年1月27日(月)
会 場 : 長崎県農協会館 7階会議室
参加校 : 長崎玉成高等学校(21名)
長崎女子商業高等学校(18名)
長崎女子高等学校(3名)
- ・ 県北地区
開催日 : 2024年9月25日(水)
会 場 : 佐世保市体育文化館 小体育館
参加校 : 佐世保東翔高等学校(21名)
清峰高等学校(7名)
九州文化学園高等学校(34名)
平戸高等学校(9名)
- ・ 県央地区
開催日 : 2024年12月4日(水)
会 場 : シーハットおおむら サブアリーナ
参加校 : 大村城南高等学校(21名)
諫早農業高等学校(36名)
- ・ 県南地区
開催日 : 2024年9月24日(火)
会 場 : 島原復興アリーナ サブアリーナ
参加校 : 口加高等学校(24名)
島原農業高等学校(15名)
- ・ 離島地区
開催日 : 2024年9月11日(水)
会 場 : 県立対馬高等学校 体育館
参加校 : 対馬高等学校(140名)

第2章 福祉関係高校生向け 介護テクノロジー体験会開催

1. 各地区共通

5 地区共通で下記の内容について実施した。

(1) 県内介護事業所における導入状況

講師：長崎県 福祉保健部 長寿社会課 介護人材確保推進班

概要：介護テクノロジーの概要紹介、介護テクノロジーの導入メリット、県内における介護テクノロジーの導入状況について説明。

(2) 県内導入事業所による事例紹介

各地区に拠点を置く介護事業所で、介護テクノロジーを積極的に活用している事業者による導入事例の紹介を行った。

- ・ 長崎地区
事例紹介事業所：社会福祉法人平成会
- ・ 県北地区
事例紹介事業所：（スケジュール都合により未実施）
- ・ 県央地区
事例紹介事業所：Fit LIFE DESIGN 株式会社
- ・ 県南地区
事例紹介事業所：社会福祉法人瑞幸会
- ・ 離島地区
事例紹介事業所：（スケジュール都合により未実施）

(3) 介護テクノロジーの体験

下記の機器を展示し、高校生が体験を行った。

No. 1	(株) アンパサンド	No. 2	ビジョントヒラ(株)
品名	SOEL MX	品名	電動昇降フルリクライニングキャリー
区分	移乗支援	区分	移乗支援
展示地区	全ての地区	展示地区	全ての地区
			

No. 3	(株) あかね福祉	No. 4	(株) FUJI
品名	移乗です	品名	Hug T1
区分	移乗支援	区分	移乗支援
展示地区	長崎、県北、県央、県南	展示地区	離島
			
No. 5	マッスル(株)	No. 6	株式会社ジェイテクト
品名	ROBOHELPER SASUKE	品名	J-PAS fleairy
区分	移乗支援	区分	移乗支援（装着型）
展示地区	県北、県央、離島	展示地区	県央地区
			
No. 7	(株) いうら	No. 8	パナソニック(株)
品名	排泄サポートリフト オンブ	品名	Walk training robo
区分	排泄支援	区分	移動支援
展示地区	全ての地区	展示地区	長崎地区
			

No. 9	RT. ワークス (株)	No. 10	(株) いうら
品名	ロボットアシストウォーカー	品名	リフト付シャワーキャリー
区分	移動支援	区分	入浴支援
展示地区	全ての地区	展示地区	県央地区
			
No. 11	ユニバーサル・サウンドデザイン (株)	No. 12	GROOVE X (株)
品名	Comuoon SE/Comuoon mobile	品名	LOVOT (ロボット)
区分	コミュニケーション支援	区分	コミュニケーション支援
展示地区	県北、県央、県南	展示地区	長崎、県北、県央、県南
			

2. 各地区の実施結果

(1) 長崎地区

令和6年度福祉関係高校生向け介護テクノロジー体験会

介護ロボット & 施設説明会

日付 2025年1月27日(月)

場所 長崎県農協会館 (7階会議室)

プログラム

◆教科書では学べない、先進的な介護の現場を学びましょう。

◆普段触れることのできない介護テクノロジー機器を体験してみましょう。

13:00～13:15	県内における介護テクノロジー活用状況説明 (長崎県福祉保健部長寿社会課)
13:15～13:35	施設における介護テクノロジー活用事例紹介
13:35～13:45	休憩
13:45～14:50	介護テクノロジー体験会
14:50～15:00	休憩
15:00～16:15	介護事業所説明会

説明会参加事業者

- 社会福祉法人 時津会
- 社会福祉法人 平成会
- 社会福祉法人 みのり会
- 医療法人 博和会
- 株式会社 ベスト・スマイル

展示機器

● (移乗支援)

SOEL MX/SOEL

電動昇降フルリクライニングキャリー 移乗です AKI-10011



● (排泄支援)

排泄サポートリフト オンブ (TL-300)



● (移動支援)

Walk training robo

ロボットアシストウォーカー (RT.3)

● (コミュニケーション支援)

LOVOT



(ア) 実施日時

2025 年 1 月 27 日（月）13:00～16:15

(イ) 会場

長崎県農協会館 7 階 大会議室（長崎市出島町 1-20）

(ウ) 参加者

長崎玉成高校（21 名）長崎女子商業高校（18 名）長崎女子高校（3 名） 計：42 名

(エ) プログラム

時間	内容
13：00～13：15	県内における介護テクノロジー活用状況説明 （長崎県福祉保健部長寿社会課）
13：15～13：35	施設における介護テクノロジー活用事例紹介 （社会福祉法人平成会）
13：35～13：45	休憩
13：45～14：50	介護テクノロジー体験会
14：50～15：00	休憩
15：00～16：15	介護事業所説明会

(オ) 体験会の様子



令和6年度福祉関係高校生向け介護テクノロジー体験会

介護ロボット & 施設説明会

日付 2024年9月25日(水)

場所 佐世保市体育文化館 小体育館

プログラム

◆教科書では学べない、先進的な介護の現場を学びましょう。

◆普段触れることのできない介護テクノロジー機器を体験してみましょう。

12:00~12:10	県内における介護テクノロジー活用状況説明 (長崎県福祉保健部長寿社会課)
12:10~13:20	介護テクノロジー体験・介護事業者の説明会
13:20~13:30	休憩
13:30~15:00	介護テクノロジー体験・介護事業者の説明会

説明会参加事業者

- 社会福祉法人 幼老育成会
- 社会福祉法人 葉山会
- 社会福祉法人 佐々川福祉会
- 社会医療法人 青洲会
- 社会医療法人財団 白十字会

展示機器

● (移乗支援)

SOEL MX/SOEL



ROBOHELPER SASUKE



AKI-10011



● (排泄支援)

排泄サポートリフト オンブ(TL-300)



● (移動支援)

電動昇降フルリクライニングキャリー



ロボットアシストウォーカー (RT.3)



● (コミュニケーション支援)

Comuoon SE/Comuoon mobile



LOVOT



- (ア) 実施日時
2024 年 9 月 25 日 (水) 12:00～15:00
- (イ) 会場
佐世保市体育文化館 小体育館 (佐世保市光月町 6-17)
- (ウ) 参加者
平戸高校 (9 名)、清峰高校 (7 名)、佐世保東翔高校 (21 名)、九州文化学園高校 (34 名)
計 : 71 名
- (エ) プログラム

時間	内容
12:00～12:10	県内における介護テクノロジー活用状況説明 (長崎県社会福祉協議会)
12:10～13:20	介護テクノロジー体験会・介護事業所説明会
13:20～13:30	休憩
13:30～15:00	介護テクノロジー体験会・介護事業所説明会

- (オ) 会場の様子



令和6年度福祉関係高校生向け介護テクノロジー体験会

介護ロボット & 施設説明会

日付 2024年12月4日(水)

場所 シーハットおおむら (サブアリーナ)

プログラム ◆教科書では学べない、先進的な介護の現場を学びましょう。
◆普段触れることのできない介護テクノロジー機器を体験してみましょう。

13:00~13:10 県内における介護テクノロジー活用状況説明
(長崎県福祉保健部長寿社会課)

13:10~13:30 施設における介護テクノロジー活用事例紹介

13:30~13:40 休憩

13:40~16:00 介護テクノロジー体験会・介護事業所説明会

説明会参加事業者

- Fit LIFE DESIGN 株式会社
- 医療法人 檜山会
- 合同会社 グローリー
- 社会福祉法人 寿光会
- 医療法人社団 淳生会

展示機器

● (移乗支援)

SOEL MX/SOEL



J-PAS fleairy



移乗です AKI-1001



● (排泄支援)

排泄サポートリフト オンブ(TL-300)



● (移動支援)

電動昇降フルリクライニングキャリー



ロボットアシストウォーカー
(RT.3)



● (入浴支援)

リフト付シャワーキャリー (LS-550)



(ア) 実施日時

2024 年 12 月 4 日 (水)

(イ) 会場

シーハットおおむら サブアリーナ (大村市幸町 25-33)

(ウ) 参加者

大村城南高校 (21 名)、諫早農業高校 (36 名) 計 : 57 名

(エ) プログラム

時間	内容
13 : 00 ~ 13 : 10	県内における介護テクノロジー活用状況説明 (長崎県社会福祉協議会)
13 : 10 ~ 13 : 30	施設における介護テクノロジー活用事例紹介 (Fit LIFE DESIGN 株式会社)
13 : 30 ~ 13 : 40	休憩
13 : 40 ~ 14 : 45	介護テクノロジー体験会&介護事業所説明会
14 : 45 ~ 14 : 55	休憩
14 : 55 ~ 16 : 00	介護テクノロジー体験会&介護事業所説明会

(オ) 会場の様子



令和6年度福祉関係高校生向け介護テクノロジー体験会

介護ロボット & 施設説明会

日付 2024年9月24日(火)

場所 島原復興アリーナ (サブアリーナ)

プログラム

- ◆教科書では学べない、先進的な介護の現場を学びましょう。
- ◆普段触れることのできない介護テクノロジー機器を体験してみましょう。

- 13:00～13:10 県内における介護テクノロジー活用状況説明
(長崎県福祉保健部長寿社会課)
- 13:10～13:30 施設における介護テクノロジー活用事例紹介
- 13:30～13:40 休憩
- 13:40～15:00 介護テクノロジー体験会
- 15:00～16:30 介護事業所説明会

説明会参加事業者

- 社会福祉法人 瑞幸会(2ブース)
- 社会福祉法人 白寿会 アメニティいわど
- 社会福祉法人 翁寿会 特別養護老人ホーム玉成園
- 社会福祉法人 小浜会 特別養護老人ホーム湯楽苑
- 特別養護老人ホーム 秩父が浦荘
- 特別養護老人ホーム 白光苑

展示機器

● (移乗支援)

SOEL MX/SOEL



ROBOHELPER SASUKE



AKI-10011



● (排泄支援)

排泄サポートリフト オンブ(TL-300)



● (移動支援)

電動昇降フルリクライニングキャリー



ロボットアシストウォーカー
(RT.3)



● (コミュニケーション支援)

Comuoon SE/Comuoon mobile



LOVOT



- (ア) 実施日時
2024 年 9 月 24 日 (火) 13:30~16:30
- (イ) 会場
島原復興アリーナ サブアリーナ (島原市平成町 2-1)
- (ウ) 参加者
口加高校 (24 名)、島原農業高校 (15 名) 計 : 39 名
- (エ) プログラム

時間	スケジュール
13:00~13:10	県内における介護テクノロジー活用状況説明 (長崎県福祉保健部長寿社会課)
13:10~13:30	施設における介護テクノロジー活用事例紹介(社会福祉法人瑞幸会)
13:30~13:40	休憩
13:40~15:00	介護テクノロジー体験会(5 ブース)
15:00~16:30	介護事業所説明会(6 法人 7 事業所)

- (オ) 会場の様子



令和6年度福祉関係高校生向け介護テクノロジー体験会

介護テクノロジー & 施設説明会

日付 **2024年9月11日(水)**

場所 **長崎県立対馬高等学校**

プログラム ◆教科書では学べない、先進的な介護の現場を学びましょう。
◆普段触れることのできない介護テクノロジー機器を体験してみましょう。

13:25～13:30 県内における介護テクノロジー活用状況説明
(長崎県福祉保健部長寿社会課)
13:30～14:15 介護テクノロジー体験(グループごと)
14:15～14:25 休憩
13:25～15:10 介護テクノロジー体験(グループごと)

説明会参加事業者

- 社会福祉法人 米寿会
- 社会福祉法人 長崎厚生福祉団

展示機器

SOEL MX/SOEL
(移乗支援)



電動昇降フルリクライニングキャリアー
(移動支援)



ROBOHELPER SASUKI
(移乗支援)



ロボットアシストウォーカー RT.3
(移動支援)



Hug T1-02
(移乗支援)



排泄サポートリフト オンブ(TL-300)
(排泄支援)



- (ア) 実施日時
2024 年 9 月 11 日 (水) 13:25～15:30
- (イ) 会場
長崎県立対馬高等学校 体育館（対馬市厳原町 120）
- (ウ) 参加者
対馬高校（140 名）計：140 名
- (エ) プログラム

時間	スケジュール
13:25～13:30	県内における介護テクノロジー活用状況説明 （長崎県福祉保健部長寿社会課 藤井氏）
13:30～14:15	介護テクノロジー体験・施設紹介
14:15～14:25	休憩
14:25～15:10	介護テクノロジー体験・施設紹介
15:10～	生徒からの挨拶

- (オ) 会場の様子



3. アンケート結果

(1) 概要

生徒、教諭それぞれに下記のアンケート調査を実施した。

(アンケート回答数)

生徒・・・340 件

教諭・・・22 件

(生徒向けアンケート)

高校生向け介護テクノロジー体験会&施設説明会 アンケートのお願い

ご参加いただきありがとうございました。今後の参考に、アンケートにご協力をお願いします。
(質問ごとに当てはまるもの 1つに○をつけてください)

学校名	高校	学年	年
-----	----	----	---

【問1】今回の「介護テクノロジー体験会&施設説明会」に参加する前に、あなたは将来、介護の仕事をしたかと思っていましたか？

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 思っていた | 2. 少し思っていた |
| 3. あまり思っていなかった | 4. まったく思っていなかった |

【問2】体験会・説明会の内容は充実していましたか？

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 充実していた（楽しかった） | 2. まあまあ充実していた |
| 3. あまり充実していなかった | 4. 充実していなかった（楽しくなかった） |

(その理由を教えてください)

【問3】体験会・説明会を通して、介護テクノロジーへの理解が進みましたか？

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. とても理解できた | 2. 理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 理解できなかった |

(どのような点が理解できましたか 又は どのような点が理解しづらかったですか)

【問4】施設・事業所から説明を聞いて、福祉や介護についての理解が進みましたか？

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. とても理解できた | 2. 理解できた |
| 3. あまり理解できなかった | 4. 理解できなかった |

(どのような点が理解できましたか 又は どのような点が理解しづらかったですか)

【問5】体験会・説明会に参加して、介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。

- | | | |
|------------|------------|----------|
| 1. 良くなった | 2. 少し良くなった | 3. 変わらない |
| 4. 少し悪くなった | 5. 悪くなった | |

(どういうふうになりましたか)

【問6】体験会・説明会に参加した後、将来、福祉・介護の仕事をしたかと思われましたか。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 思った | 2. 少し思った |
| 3. あまり思わなかった | 4. まったく思わなかった |

【問7】介護テクノロジーを導入している施設・事業所に魅力を感じますか？

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. とても魅力を感じる | 2. まあまあ魅力を感じる |
| 3. あまり魅力を感じない | 4. 魅力を感じない |

(その理由を教えてください)

アンケートへのご協力ありがとうございました。

(教諭向けアンケート)

高校生向け介護テクノロジー体験会&施設説明会 アンケートのお願い

今回は標記体験会・説明会ご参加いただきありがとうございました。今後の参考に、アンケートにご協力をお願いします。(質問ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください)

学校名	高校	教員名	
-----	----	-----	--

【問1】今回の「体験会・説明会」に参加する前に、ご自身が介護テクノロジーを体験したことはありましたか。

1. 体験したことがあった(□ 昨年度に参加) 2. 見たことはあったが体験したことはなかった
3. 見たことも体験したこともなかった

【問2】これまで、学校の授業の中で、介護テクノロジーについて取り上げたことはありますか？

1. 取り上げたことがある 2. 取り上げたことはなかった

(取り上げたことがある場合、その内容)

【問3】「体験会・説明会」を通して、介護テクノロジーへのご自身の理解が進みましたか？

1. とても理解できた 2. 理解できた
3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった

(理解が進んだ点や理解しづらかった点などご教示ください)

【問4】「体験会・説明会」を通して、福祉・介護の仕事へのご自身の理解が進みましたか？

1. とても理解できた 2. 理解できた
3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった

(理解が進んだ点や理解しづらかった点などご教示ください)

【問5】「体験会・説明会」に参加して、ご自身の介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない
4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

(どういうふうに変わりましたか)

【問6】介護事業所における介護テクノロジー導入は、生徒の進路選択に影響すると思いますか。

1. 思う 2. 少し思う
3. あまり思わない 4. まったく思わない

(その理由を教えてください)

【問7】来年度も「体験会・説明会」を開催した場合、参加を希望しますか。

1. ぜひ参加したい 2. できれば参加したい
3. どちらでも良い 4. 参加を希望しない

【問8】その他、本県の介護人材確保・定着にかかる取組みに関し、ご意見ありましたらお聞かせください。

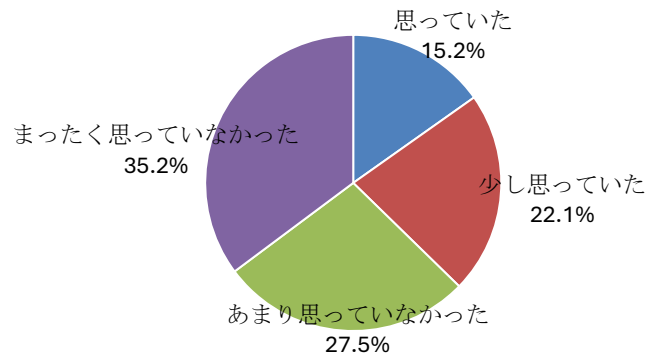
--

アンケートへのご協力ありがとうございました。

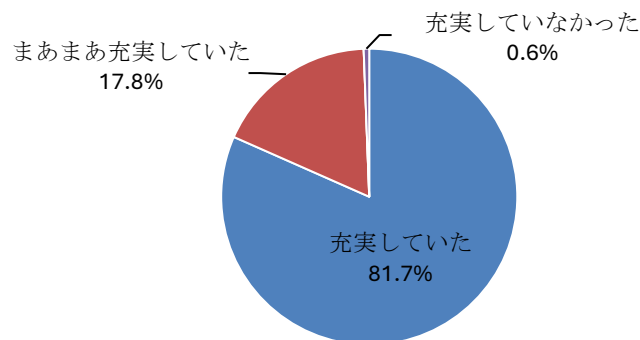
(2) 結果

(生徒)

- ① 今回の「介護テクノロジー体験会&施設説明会」に参加する前に、あなたは将来介護の仕事をしたいと思っていましたか？



- ② 体験会・説明会の内容は充実していましたか？

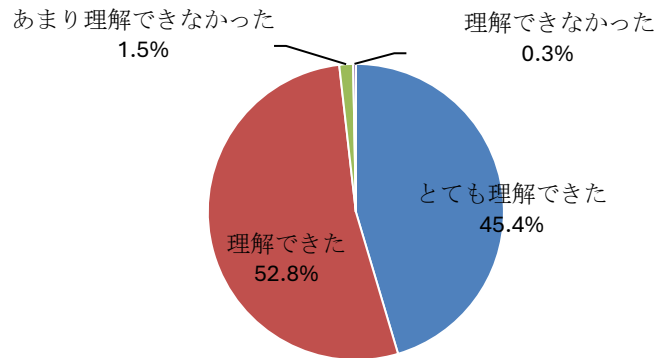


(理由・感想) ※内容を要約し整理

1. 体験できたことが良かった
 - ・ 介護ロボットや機器を実際に触れて体験できた。
 - ・ 話を聞くだけでなく、体験を通じて学ぶことができた。
 - ・ 見たことのない機械やロボットを操作できた。
 - ・ 介護ロボットの使用方法が分かった。
 - ・ 高齢者の立場を体験することができた。
 - ・ 普段触れる機会のない機械を使えた。
2. 新しい発見や学びがあった
 - ・ 介護テクノロジーについて詳しく知ることができた。
 - ・ 介護の仕事が力仕事だけではないことを知った。
 - ・ 介護の現状や最新技術を知ることができた。
 - ・ 介護ロボットがどのように活用されているか理解できた。
 - ・ 介護の大変そうなイメージが変わった。
 - ・ 介護者と高齢者の気持ちを学ぶことができた。
3. 説明が分かりやすかった
 - ・ 企業や施設の説明が分かりやすく、具体的だった。
 - ・ パワーポイントや資料を使った説明があった。
 - ・ 1つ1つのブースで細かく説明してもらえた。
 - ・ どの機械も丁寧に説明してもらえた。
4. 体験が楽しかった
 - ・ 初めてのことが多く、楽しく学ぶことができた。
 - ・ 介護ロボットの操作や説明が面白かった。

- ・ いろんな種類のロボットがいて楽しかった。
 - ・ 友達と一緒に体験できた。
5. 運営がスムーズだった
- ・ 各ブースが凝っていて、空き時間がなかった。
 - ・ 待ち時間が少なく、スムーズに回れた。
 - ・ 無駄な時間がなく、効率よく学べた。

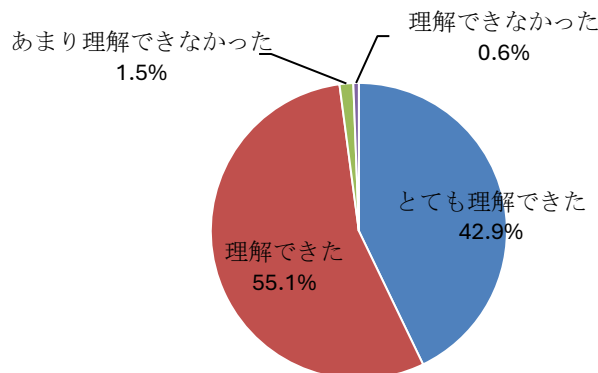
③ 体験会・説明会を通して、介護テクノロジーへの理解が進みましたか？



(理解が進んだ理由・感想) ※内容を要約し整理

- 具体的な技術を知れた
 - ・ 介護ロボットや見守りセンサーの仕組みがわかった
 - ・ AI や IoT が介護でどう使われているか学べた
- 介護の課題とテクノロジーの関係がわかった
 - ・ 人手不足を補うためにテクノロジーが必要だと理解できた
 - ・ 介護する人の負担を減らす工夫があることを知った
- 実際の活用例を知れてイメージしやすかった
 - ・ 施設や在宅介護での導入例を聞いて、現実的に感じた
 - ・ 動画や写真を見て、どう使われているのかがわかりやすかった

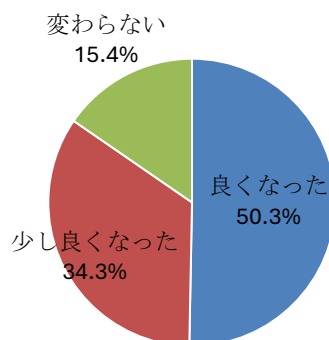
④ 施設・事業所から説明を聞いて、福祉や介護についての理解が進みましたか？



(理解が進んだ理由・感想) ※内容を要約し整理

- ・ 介護の現場が抱える課題について具体的に知ることができた。
- ・ 高齢者の生活を支える多様な支援制度があることを学んだ。
- ・ 介護職員の負担の大きさや人手不足の深刻さを理解した。
- ・ 身体的・精神的な負担が大きい仕事であることが分かった。
- ・ 介護を受ける側・支える側の両方にとって支援が重要だと感じた。
- ・ 今後の福祉制度の充実が求められると実感した。
- ・ 家族の介護や将来の自分のことを考える機会になった。
- ・ 介護の知識を深めることの大切さを感じた。

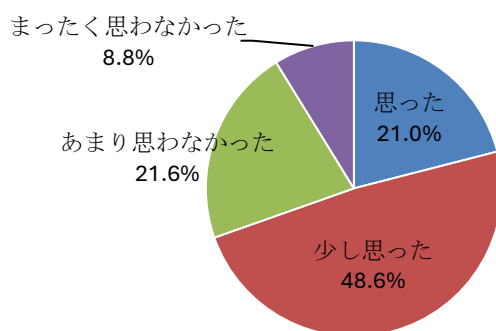
⑤ 体験会・説明会に参加して、介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。



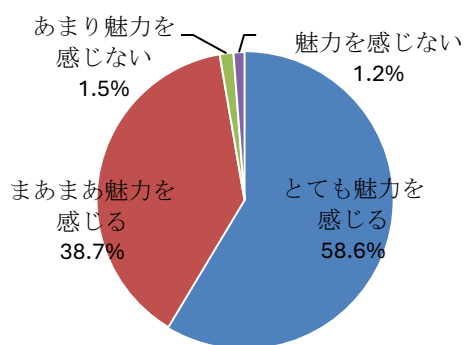
(イメージが良くなった理由・感想) ※内容を要約し整理

- ・ 実際に体験することで、介護の仕事のやりがいや大変さを理解できた。
- ・ 利用者との交流を通じて、温かみや感謝の気持ちを感じられる仕事だと分かった。
- ・ 介護は単なる力仕事ではなく、知識や技術が求められる専門職であると認識した。
- ・ 介護職員の方々の丁寧な対応や工夫を見て、プロフェッショナルな仕事だと感じた。

⑥ 体験会・説明会に参加した後、将来、福祉・介護の仕事をしたかったですか。



⑦ 介護テクノロジーを導入している施設・事業所に魅力を感じますか。

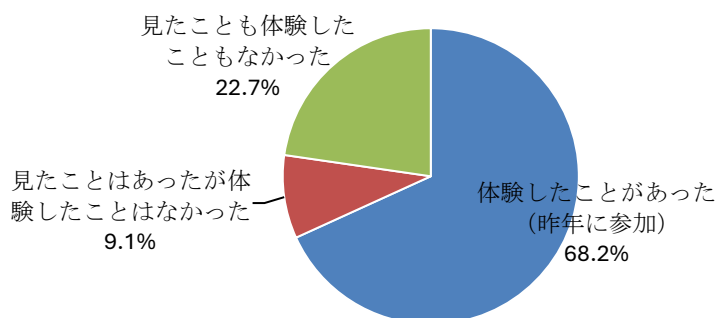


(魅力を感じる理由・感想) ※内容を要約し整理

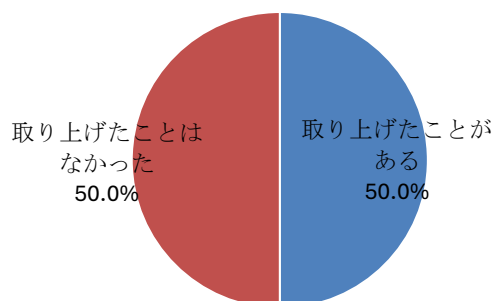
- ・ 負担軽減：介護者の身体的・精神的負担が減るため、質の高いケアが期待できる。
- ・ 効率化：業務の効率が上がり、より利用者に寄り添ったケアが可能になる。
- ・ 安心・安全：見守りシステムや転倒防止技術により、利用者の安全が確保される。
- ・ 人手不足対策：人材不足の解消につながり、安定したサービス提供が可能になる。
- ・ 最新技術の導入：AI やロボット技術の活用により、先進的なケアを受けられる。

(教諭)

- ① 今回の「体験会・説明会」に参加する前に、ご自身が介護テクノロジーを体験したことはありましたか。



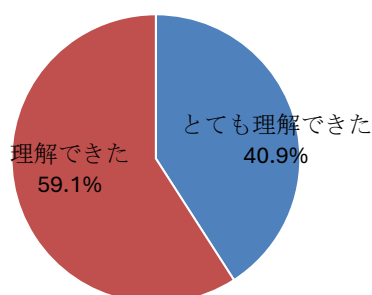
- ② これまで、学校の中で介護テクノロジーについて取り上げたことはありますか？



(取り上げた内容)

- ・ 生徒にインターネットを活用して調べ、学習をさせていまいした。
- ・ 教科書に書いてあるものに触れる程度。
- ・ 介護ロボットの活用、介護後術コンテストでの活用など。
- ・ コミュニケーションロボット (AI) など。
- ・ 教科書の内容。リフト、ロボットなど。
- ・ 床走行用リフトの実技指導
- ・ 床走行用リフトの実技指導
- ・ 介護職員初任者研修でテキスト・教科書に準じて取り上げた。
- ・ 生活支援技術の中で、移乗の際に活用する介護テクノロジーを取り上げました。
- ・ 体験会に参加後、介護ロボットについて調べ学習していった。
- ・ 体験会に参加したことがあるので、その際の展示機器などについて。

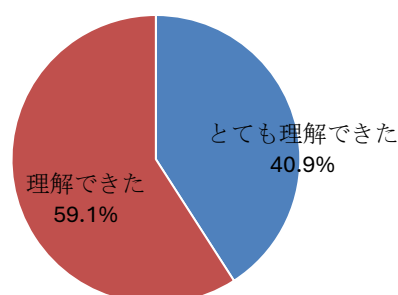
③ 「体験会・説明会」を通して、介護テクノロジーへのご自身の理解が進みましたか？



(理由・感想)

- ・ 初めてでしたので、色々な道具が開発されていることを知る機会になりました。
- ・ 移乗にかかわるものが多かったので、色々な種類の介護テクノロジーを見れたら嬉しかったです。
- ・ 介護の機器が少なかったため、もっと沢山の機器が体験したいです。
- ・ 体験する事で機械の仕組み、メリットデメリットを知る事が出来た。
- ・ 日々変化しているのだなと思った。(ロボットの普及など)
- ・ 利用者の方の状況や環境によって様々な形の機具があることを理解できた。
- ・ 昨年と違う機器もあり、様々な機器の特徴が理解できた。
- ・ 実際にロボットを近くで見て、生徒が体験する様子から技術が進んでいることが分かった。
- ・ 初めて拝見する機器などあり、今後の授業の参考にさせていただきます。
- ・ 施設に介護ロボットの導入が多くなってきているので、利用者にも楽な介護になってきている。
- ・ 導入されている施設が増えていることに大変驚きました。

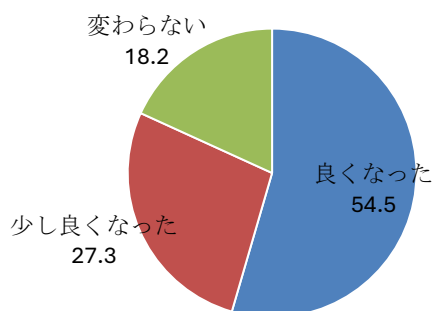
④ 「体験会・説明会」を通して、福祉・介護の仕事へのご自身の理解が進みましたか？



(理由・感想)

- ・ 想像以上に実際の現場で使用されていることに驚きました。
- ・ 施設の説明はなくてもよいかと思います。できれば体験の方を増やして欲しいです。
- ・ 施設ごとの特色を説明会で理解する事が出来た。
- ・ 介護の現場にロボットが多く活用されていることを実感できた。
- ・ 利用者の方との関り方など理解を深めることができました。
- ・ 介護の職場が更に働きやすくなっていることを実感しました。

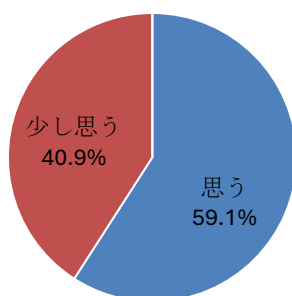
- ⑤ 「体験会・説明会」に参加して、ご自身の介護の仕事に対するイメージは変わりましたか。



(理由・感想)

- ・ 利用者にとっても介護スタッフにとっても負担が軽減したのではないかと感じました。
- ・ 介護に対するイメージは以前から悪くないです。
- ・ 介護職員が働きやすいように、また「ここで働いてみたい」と思うような取組を沢山されていることを知る事ができた。
- ・ 介護テクノロジーが県内で普及しつつあることを伺い、若い人は介護のイメージが変化するのではと思います。
- ・ 現場への導入が進み、利用者・介護者共に負担が軽減されていると感じた。
- ・ ロボットに任せるべきところはしっかり任せて、それ以外の業務に専念できたり、介護者の体の負担軽減など。
- ・ 今まで良いイメージがありましたが、より一層思いました。
- ・ 介護ロボットの導入により、良い環境になってきていると思った。
- ・ 以前からイメージは良い。

- ⑥ 介護事業所における介護テクノロジー導入は、生徒の進路選択に影響すると思いますか。

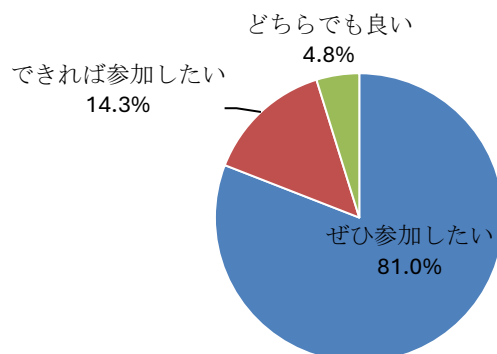


(理由・感想)

- ・ 仕事の大変さが変わってくると思いますので、先進的な機器を導入されていると魅力的です。
- ・ 重労働のイメージ解消につながるのではないかと思います。
- ・ 介護テクノロジーだけではなく、生徒達は施設の環境や雰囲気でも施設を選んでいるため。
- ・ 3Kと言われているが、その印象が変わると思う。
- ・ 介護が人の手によるものだけでなく、ICTを活用したものやテクノロジーなど最新の技術を取り入れている動きを知る事で、技術の活用に興味を示すのではないかと考えたため。
- ・ 学校でもICTが少しずつ進んでおり、記録のデジタル化は魅力的に感じるのではと思った。

- ・ 介護テクノロジーやその他仕事の環境が整っているかについて生徒はよく見ているので、進路選択に影響すると思いました。
- ・ 進路目標が明確な生徒が多いため。
- ・ もしも生徒が介護現場のマイナスイメージを持っているとすれば、ロボットの活用はよい影響を与えると思う。
- ・ 介護に対するイメージの変化があると思います。
- ・ 介護施設の環境変化を知ること介護希望者も増加するのではと思いました。
- ・ 「きつい」というイメージがロボットの導入により緩和されていることが理解できるから。

⑦ 来年も「体験会・説明会」を開催した場合、参加を希望しますか。



(人材確保・定着への意見)

- ・ 福祉教員としては、生徒に福祉の仕事に触れる機会を増やしたいが、授業や校内の調整等煩雑さもあります。トップダウンで指示が来るような働きかけがあれば、福祉以外の生徒も動かしやすいと思うのですが・・・。
- ・ 介護職は給料が低いというイメージがまだまだ強く、保護者が抱くイメージが変化しないままのように感じます。生徒に対してだけではなく、社会全体にアピールしていくことが大切だと思います。
- ・ 生徒に介護の良さ等を伝えるだけではなく、施設自体も高校生等就職したいと思えるような工夫や努力が必要だと思います。また高校の場合は保護者の意向も入ってくるため、親世代の介護に対するイメージを良くする必要があります。
- ・ 実際に介護ロボットやICTなど、どのような形で施設が取り入れているのか具体的なものの（動画や写真）があれば現実感が湧くのではないかと思います。
- ・ 介護ロボットが毎年同じ内容の展示になっているので刷新して欲しい。
- ・ 今後も中高生あるいは小学生への広報・アピールをお願いします。大変お世話になりました。ありがとうございます。
- ・ 貴重な機会をいただきありがとうございました。施設・事業所からの説明の時間について。1事業社15分間の時間設定は集中力が続かずせつかくのお話もしっかり聞くことができていなかったと感じた。設定時間を10分と短くするか事業所の数を減らす等して1時間以内に収めた方が良いのではないかと思います。
- ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ お世話になりました。ありがとうございました。
- ・ いつもお世話になっております。ありがとうございました。